



2006年度 中間期決算 アナリストミーティング

2006年11月17日(金)

中間期業績の状況 (連結)

(百万円)

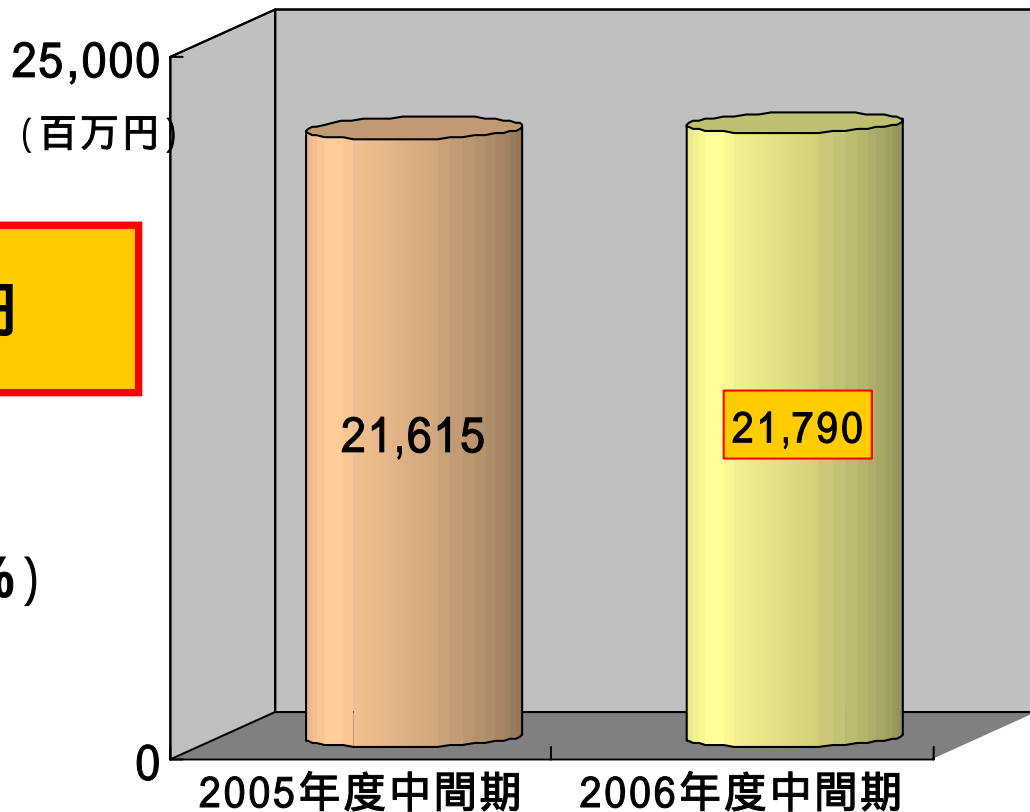
	2005年度		2006年度			
	中間期実績		中間期実績		対前中間期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	26,472	100.0%	26,833	100.0%	361	1.4%
営業利益	2,277	8.6%	1,541	5.7%	736	32.3%
経常利益	2,462	9.3%	1,663	6.2%	799	32.4%
中間純利益	1,305	4.9%	806	3.0%	499	38.2%

部門別業績推移(連結) 医薬品

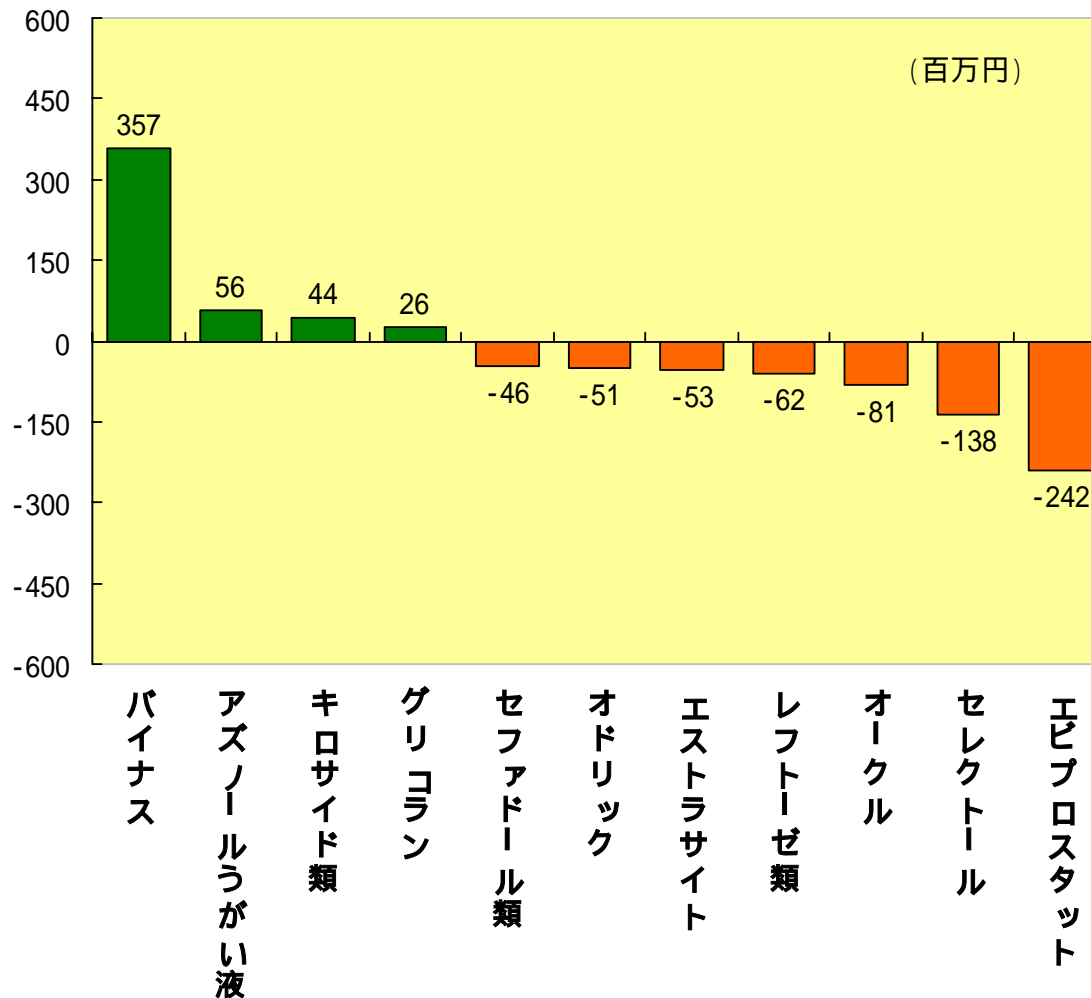
実績 21,790百万円

対前中間期比

+175百万円(+0.8%)



主力品目 売上高増減



- ・アズノールうがい液 (8.9% up)
(アズレン含嗽液)
- ・キロサイド (3.4% up)
(代謝拮抗性 抗悪性腫瘍剤)
- 等の伸長**
- ・エビプロスタット (7.5% down)
(前立腺肥大症治療剤)
- ・セレクトール (6.6% down)
(高血圧・狭心症治療剤)
- ・オークル (14.2% down)
(抗リウマチ剤)
- 等の減少**
- ・バイナス
(アレルギー性鼻炎治療剤)
の寄与



医薬品売上の内訳

(百万円)

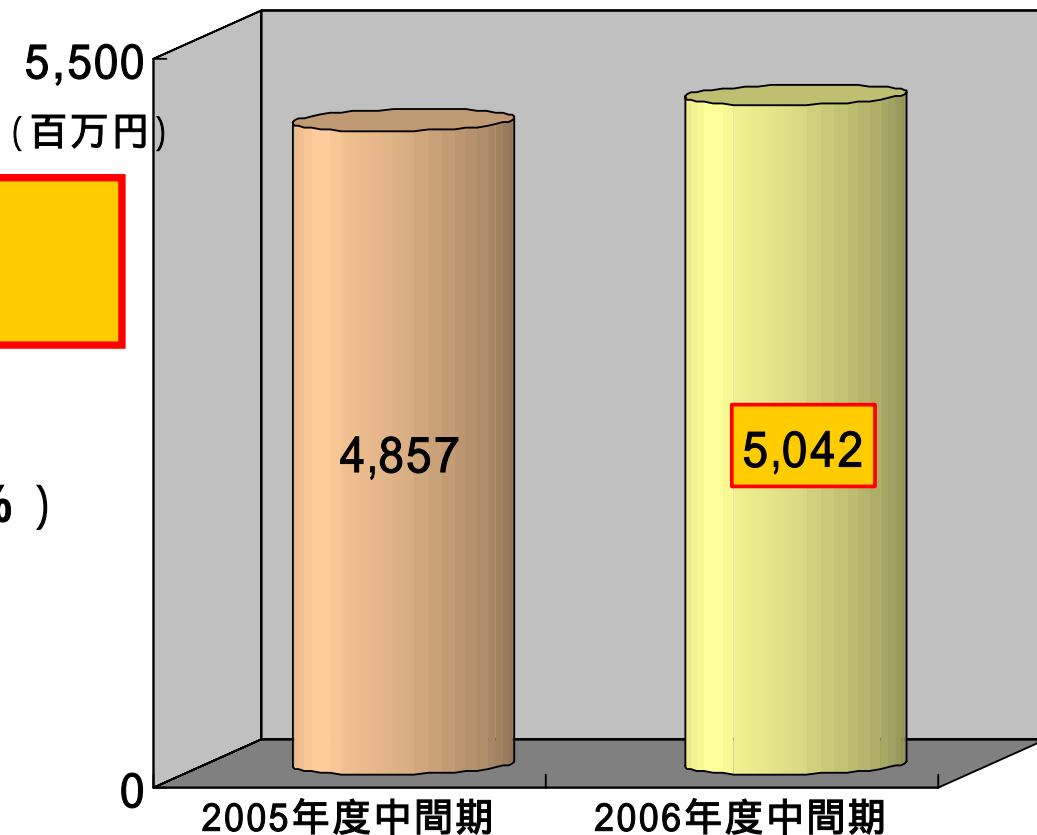
	2005年度		2006年度			
	中間期実績		中間期実績		対前中間期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
医薬品	20,728	95.9%	20,919	96.0%	191	0.9%
工業所有権等収益	57	0.3%	77	0.4%	20	35.1%
フルリフロキサシン原薬	746	3.4%	718	3.3%	28	3.8%
受託製造	84	0.4%	76	0.3%	8	9.5%
医薬品合計	21,615	100.0%	21,790	100.0%	175	0.8%

部門別業績推移(連結) 機能食品

実績 5,042 百万円

対前中間期比

+185 百万円 (+ 3.8%)



機能食品売上の内訳

(百万円)

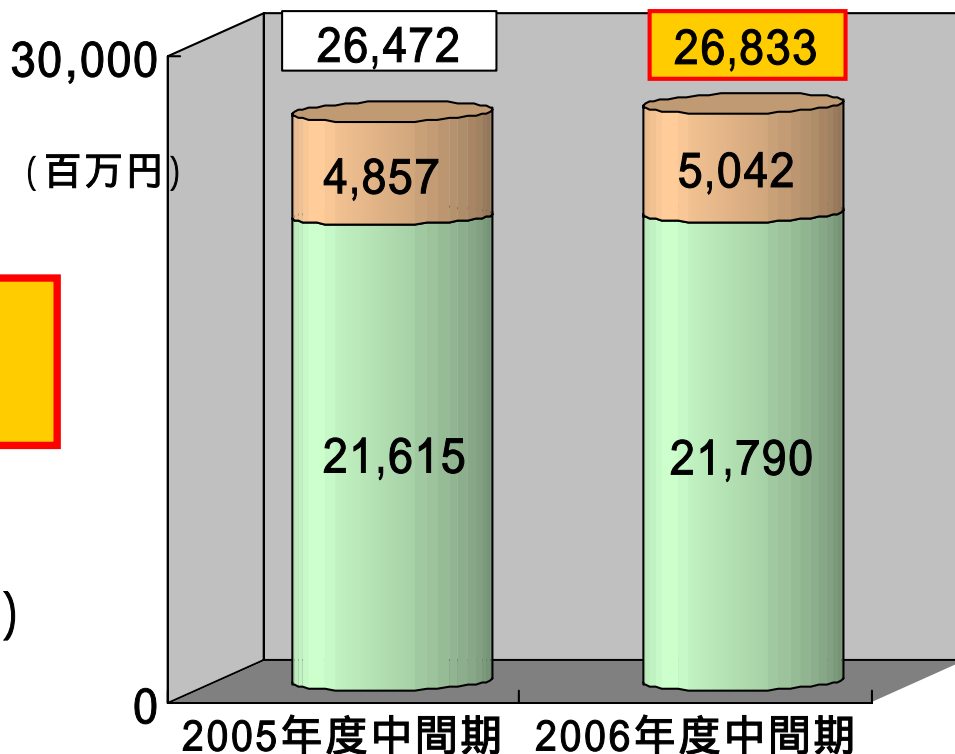
	2005年度		2006年度			
	中間期実績		中間期実績		対前中間期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
調味・香辛料	275	5.7%	267	5.3%	8	2.9%
品質安定保存剤	703	14.5%	699	13.9%	4	0.6%
たん白製剤	2,870	59.1%	3,123	61.9%	253	8.8%
除菌・洗淨剤	207	4.2%	186	3.7%	21	10.1%
小麦製品	76	1.6%	74	1.5%	2	2.6%
健康食品素材	467	9.6%	401	7.9%	66	14.1%
その他	259	5.3%	292	5.8%	33	12.7%
機能食品合計	4,857	100.0%	5,042	100.0%	185	3.8%

中間期業績推移(連結) 売上高

実績 26,833百万円

対前中間期比

+ 361百万円(+ 1.4%)



機能食品
医薬品

中間期業績の状況 (連結)

(百万円)

	2005年度		2006年度			
	中間期実績		中間期実績		対前中間期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	26,472	100.0%	26,833	100.0%	361	1.4%
(医薬品)	(21,615)	(81.7%)	(21,790)	(81.2%)	(175)	(0.8%)
(機能食品)	(4,857)	(18.3%)	(5,042)	(18.8%)	(185)	(3.8%)
営業費用	24,194	91.4%	25,292	94.3%	1,098	4.5%
売上原価	11,346	42.8%	12,103	45.1%	757	
返品引当金戻入額	10	0.0%	3	0.0%	7	
販売費及び一般管理費	8,984	33.9%	8,797	32.8%	187	
研究開発費	3,874	14.7%	4,393	16.4%	519	
営業利益	2,277	8.6%	1,541	5.7%	736	32.3%

売上原価 : 対前中間期比 + 2.3ポイント

販管費 : 対前中間期比 減少

研究開発費 : 委託研究費等の増加

中間期業績の状況 (連結)

(百万円)

	2005年度		2006年度			
	中間期実績		中間期実績		対前中間期比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	2,277	8.6%	1,541	5.7%	736	32.3%
営業外収益	509	1.9%	443	1.7%	66	13.0%
営業外費用	325	1.2%	321	1.2%	4	1.1%
経常利益	2,462	9.3%	1,663	6.2%	799	32.4%
中間純利益	1,305	4.9%	806	3.0%	499	38.2%

経常利益・中間純利益： 営業利益の減少等により減益

設備投資の状況 (連結)

設備投資及び減価償却費

(百万円)

	中間期実績		
	2005年度	2006年度	増減
設備投資額	558	723	165
減価償却費	1,089	945	144

設備投資内訳

(百万円)

	中間期実績		
	2005年度	2006年度	増減
<日本新薬>	521	696	175
生産関連	90	395	305
研究開発関連	301	149	152
一般関連	130	152	22
名古屋支店新築工事	(-)	(119)	(119)
その他設備投資一般	(130)	(33)	(97)
<シオエ製薬>	11	20	9
<タジマ食品>	26	7	19
設備投資計	558	723	165

予想損益計算書 (連結)

(百万円)

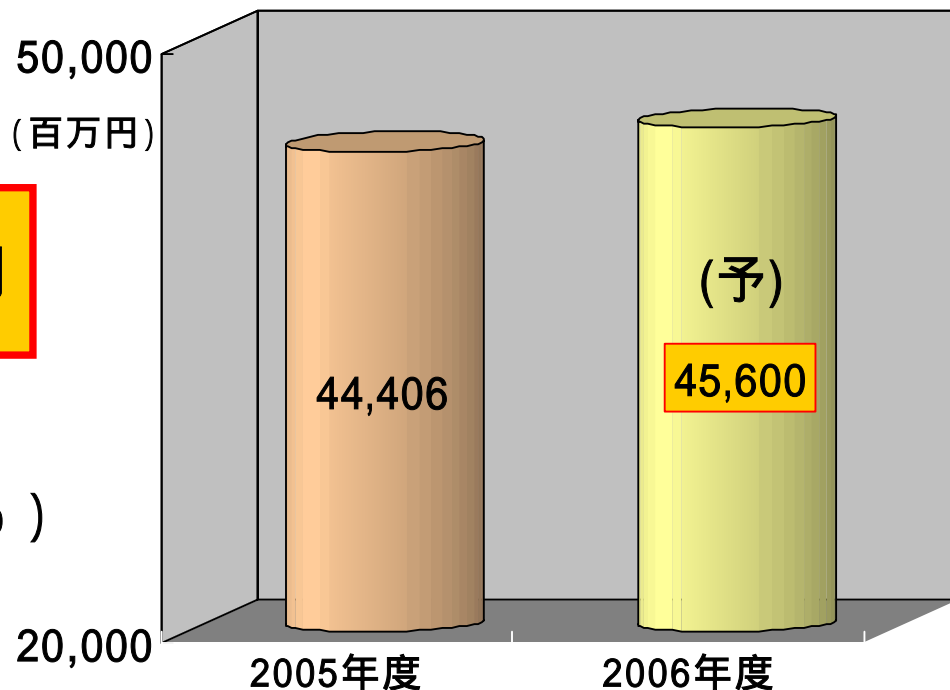
	2005年度		2006年度			
	実績		予想		対前年度比	
		売上比		売上比	増減	増減率
売上高	53,946	100.0%	55,500	100.0%	1,554	2.9%
営業利益	2,655	4.9%	4,700	8.5%	2,045	77.0%
経常利益	2,992	5.6%	5,000	9.0%	2,008	67.1%
当期純利益	1,611	3.0%	2,750	5.0%	1,139	70.6%

部門別業績見通し(連結) 医薬品

2006年度 45,600百万円

対前年度比

+ 1,194百万円(+ 2.7%)



医薬品売上予想の内訳

(百万円)

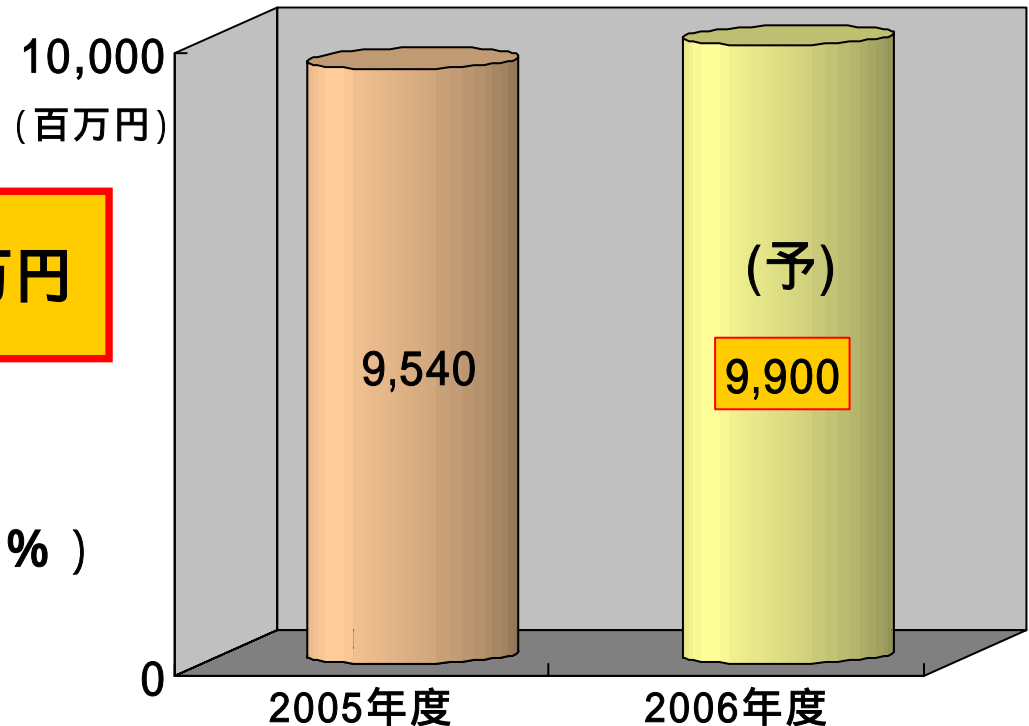
	2005年度		2006年度			
	実績	売上比	予想	売上比	対前年度比	
					増減	増減率
医薬品	42,564	95.9%	43,860	96.2%	1,296	3.0%
工業所有権等収益	220	0.5%	400	0.9%	180	81.8%
フルリフロキサシン原薬	1,445	3.2%	1,200	2.6%	245	17.0%
受託製造	177	0.4%	140	0.3%	37	20.9%
医薬品合計	44,406	100.0%	45,600	100.0%	1,194	2.7%

部門別業績見通し(連結) 機能食品

2006年度 9,900百万円

対前年度比

+360百万円(+3.8%)



機能食品売上予想の内訳

(百万円)

	2005年度		2006年度			
	実績	売上比	予想	売上比	対前年度比	
					増減	増減率
調味・香辛料	517	5.4%	500	5.1%	17	3.3%
品質安定保存剤	1,403	14.7%	1,460	14.7%	57	4.1%
たん白製剤	5,595	58.6%	5,850	59.1%	255	4.6%
除菌・洗浄剤	395	4.2%	350	3.5%	45	11.4%
小麦製品	165	1.7%	150	1.5%	15	9.1%
健康食品素材	896	9.4%	1,000	10.1%	104	11.6%
その他	569	6.0%	590	6.0%	21	3.7%
機能食品合計	9,540	100.0%	9,900	100.0%	360	3.8%

予想損益計算書(連結)

(百万円)

	2005年度		2006年度			
	実績		予想		対前年度比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業収益						
売上高	53,946	100.0%	55,500	100.0%	1,554	2.9%
(医薬品)	(44,406)	82.3%	(45,600)	(82.2%)	(1,194)	(2.7%)
(機能食品)	(9,540)	17.7%	(9,900)	(17.8%)	(360)	(3.8%)
営業費用	51,291	95.1%	50,800	91.5%	491	1.0%
売上原価	23,310	43.2%	24,700	44.5%	1,390	
返品引当金戻入額	11	0.0%	-			
販売費及び一般管理費	17,920	33.2%	17,800	32.1%	120	
研究開発費	10,071	18.7%	8,300	15.0%	1,771	
営業利益	2,655	4.9%	4,700	8.5%	2,045	77.0%

売上原価率：対前年度実績比 + 1.3 ポイント

販管費：対前年度実績比 横這い

研究開発費：委託研究費の減少

予想損益計算書(連結)

	2005年度		2006年度			
	実績		予想		対前年度比	
		売上比		売上比	増減	増減率
営業利益	2,655	4.9%	4,700	8.5%	2,045	77.0%
営業外収益	938	1.8%	900	1.6%	38	4.1%
営業外費用	600	1.1%	600	1.1%	0	0.0%
経常利益	2,992	5.6%	5,000	9.0%	2,008	67.1%
特別利益	292	0.5%	-	-	-	-
当期純利益	1,611	3.0%	2,750	5.0%	1,139	70.6%

設備投資の計画 (連結)

設備投資及び減価償却費

(百万円)

	2005年度実績	2006年度予想	増減
設備投資額	1,184	1,600	416
減価償却費	2,221	1,900	321

設備投資内訳

(百万円)

	2005年度実績	2006年度予想	増減
< 日本新薬 >	973	1,500	527
生産関連	298	600	302
研究開発関連	482	400	82
一般関連	193	500	307
名古屋支店新築工事	-	(350)	(350)
その他設備投資一般	(193)	(150)	(43)
< シオエ製薬 >	52	50	2
< タジマ食品 >	159	50	109
設備投資計	1,184	1,600	416

配当予想

	普通株式1株当たり配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
前回発表予想 (平成18年5月)	5 円	6 円	11 円
今回修正予想	6 円	6 円	12 円
(ご参考) 前年度実績 (平成18年3月期)	5 円	5 円	10 円

研究開発品目の進捗状況

新製品開発状況(国内)

開発品目	申請区分	適応症等	開発状況	2004	2005	2006	2007年度	
NS - 126 (導入)	新成分	吸入 ステロイド 剤	鼻 炎	P	→			申請 予定
			喘 息	P	→			
NS - 315 (塩酸トラマドール) (導入)	新投与経路	癌性疼痛		P	→			
HFT - 290 (クイン酸フェンタニル) (導入)	新投与経路	癌性疼痛		P	→			
TRK - 091 (塩酸トラマドールSR) (導入)	新剤型 新効能	慢性疼痛 (整形外科領域)		P	→			
NS - 11 (ア坎プロセート) (導入)	新成分	アルコール依存症		P	→			
NS - 8 (自社)	新成分	過活動膀胱		P (終了)	→	P	→	

新製品開発状況(海外)

開発品目	申請区分	適応症	開発状況	2004	2005	2006	2007年度
NM441 (自社)	新成分	合成抗菌剤	US P			Optimer →	
NS-8 (自社)	新成分	過活動膀胱	EU P	Apogepha →	→	→	→
HMN-214 (自社)	新成分	固形癌 (経口剤)	US P 準備中	→			Teva ... →
NS-9 (自社)	新成分	肝癌 (転移性肝癌)	US P	→	→		
NS-220 (自社)	新成分	高脂血症 (HDL /TG)	EU P		Roche →	→	→
NS-187 (自社)	新成分	慢性骨髄性 白血病	US/EU P			Innovive →	→
NS-304 (自社)	新成分	肺高血圧症	EU P			→	→

NM441 (プルリフロキサシン)

- キノロン系合成抗菌剤 -

開発段階:

国内: 発売 (明治製菓 / スオード錠) : 2002/12

海外: アンジェリーニ社 (伊)

販売承認 : 2004/09

発売 : 2004/11

欧州各国承認 : 2005/04

柳韓洋行社 (韓)

契約 : 2003/02

承認申請 : 2006/07

承認見込み : 2006年度

オプティマー社 (米)

契約 : 2004/06

P 試験 : 2006/05 ~



NS-126

- 吸入ステロイド剤 -

- 開発段階** : 鼻炎 : P 試験終了
申請準備中
喘息 : P a試験 終了
- 開発形態** : 久光製薬と共同開発
- 成分名** : 新規合成副腎皮質ステロイド
- 適応症** : アレルギー性鼻炎、気管支喘息
- 特徴** : 粉末製剤
1日1回噴霧 (既存薬は2~3回)

NS-315 (塩酸トラマドール)

- 非麻薬性鎮痛剤 -

グリュエントール社(独)から導入(世界の約100カ国で発売済み)

開発段階: 癌性疼痛 : P

(2006/11 追加試験開始)

開発形態: 自社

用法: 3~4回 / 日

特徴: 中等度鎮痛剤

NSAIDs < トラマドール < モルヒネ

HFT - 290 (クエン酸フェンタニル)

- 癌性疼痛緩和テープ剤 -

開発段階 : 癌性疼痛 : P 試験

開発形態 : 久光製薬(株)との共同開発
(2005/04 契約)

用法 : 1日1回貼付

特徴 : 中等度～高度 癌性疼痛緩和剤
経皮薬物送達システム

TRK-091

- ترامドール徐放剤 -

開発段階 : P 試験

開発形態 : 東レと共同開発

製 剤 : 1日1回投与の徐放剤

適 応 症 : 整形外科領域(慢性疼痛)

ترامドール製剤	投与回数	適応症
NS - 315	3 ~ 4回 / 日	癌性・術後疼痛
TRK - 091	1回 / 日	腰痛・背部痛等

NS-8

- 過活動膀胱治療剤 -

開発段階

国内 : P (反復)試験 : 終了

海外 : アポゲファ社(独)へ導出 : 2003/10

P (反復)試験 : 終了

P 試験 : 2005/09 ~

製 剤 : 徐放剤

用 法 : 1日2回投与

作用機序 : Ca感受性Kチャネルオープナー

PGE₂遊離抑制作用

膀胱求心性神経抑制作用



NS-11 (アカンプロセート)

- アルコール依存症治療剤 -

開発段階: P 試験

開発会社: メルクサンテ社(仏)より導入

欧州30ヵ国で発売済み(1989 ~)

米国 2005/01 発売 (Forest社)

適 応 症: アルコール依存症

成 分: アセチルホモタウリネートカルシウム

剤 型: 腸溶錠

特 徴: NMDA受容体との特異的相互作用により、
アルコールの離脱症状を軽減し、自発的
飲酒を抑制する禁酒維持のサポート



HMN-214

- 抗癌剤 -

開発段階: P 試験終了(米国)

テバ社(旧アイバックス)へ導出: 2004/09

P 試験準備中

適応症: 固形癌

(膵臓癌、肺癌、大腸癌、乳癌、前立腺癌等)

用法: 経口剤

作用機序: 細胞分裂をM期で阻害してアポトーシス
誘導多剤耐性因子MDR1の発現を抑制
し、耐性株にも有効

NS-9

- poly(I) : poly(C) のカチオンリポソーム製剤 -

開発段階 : P 試験終了

作用機序 : 癌細胞内ヌクレアーゼ活性化作用

適応症 : 肝癌(転移性肝癌)

特徴 : 人工二重鎖RNA

肝臓への集積効果の高いDDS製剤
癌細胞特異的な作用



NS - 220

- 高脂血症治療剤 -

開発状況 : ロシュ社へ導出 : 2003/10

P 試験 : 2004/12 ~

適応症 : 高脂血症 (HDL上昇剤、TG低下剤)

作用機序 : 選択的PPAR -アゴニスト

特徴 : 糖尿病に合併する高脂血症治療薬
フィブレート剤に比べ大幅に少用量
スタチンとの併用可能

NS - 187

- 慢性骨髄性白血病治療剤 -

- 開発状況** : イノバイブ社(米)へ導出 : 2005/12
P 試験(欧米) : 2006/07~
- 適応症** : 慢性骨髄性白血病
- 作用機序** : Bcr-ablチロシンキナーゼ阻害
Lynチロシンキナーゼ阻害
- 特徴** : グリベック耐性変異体にも効果



NS - 304

- 肺高血圧症治療剤 -

開発状況 : 欧州 (EMEA) オーフアン指定 : 2005/08
P 試験 (英) : 2006/06 ~

適 応 症 : 肺高血圧症

作用機序 : 選択的PGI₂アゴニスト

剤 形 : 錠剤

特 徴 : 長時間作用型経口剤